

9 月定例記者会見質疑応答記録用

▽日時:令和4年9月2日 午前11時から

▽会場:稲敷市役所 4階全員協議会室

▽参加記者:毎日新聞、茨城新聞社、時事通信社 3名

▽参加者(市):市長、副市長、教育長、行政経営部長、教育部長、会計管理者、危機管理監、地域振興部長、市民生活部長、保健福祉部長、土木管理部長、行政経営部企画監(総務課長)、土木管理部企画監(建設課長)、地域振興部企画監(産業振興課長)、教育委員会企画監(教育政策課長)、企画財政課長、農政課長、まちづくり推進課長、産業振興課企業誘致推進室長、秘書政策課長、産業振興課説明員1名、企業誘致推進室説明員1名、農政課説明員1名

■資料 別紙のとおり

■市長あいさつ

改めまして、おはようございます。記者の皆様にはお忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市の情報発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

9月に入りまして記録的な暑さも、ようやく一段落してまいりました。そんな中、先月15日には、本市にとって、とても嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。ゴルフの全米女子アマチュア選手権で、日本ウェルネス高校2年の馬場咲希選手が見事に優勝を飾りました。稲敷市内にありませんゴルフ場、セババレストロスの寮を拠点に生活し、日々練習に励んでいる馬場選手が、今回日本人として37年ぶりの快挙を成し遂げたことは、大変誇らしい限りです。今後は、様々な試合を重ね、プロテストの合格を目指すそうですが、これからも更なる活躍が期待されるところであります。本市としましても早速横断幕を掲げ、祝福するとともに、ゴルフのまち稲敷市としての魅力も発信しながら、馬場選手をはじめ、若きアスリートを応援していく体制を整えて参りたいと考えております。

さて、国内においては、7月の中旬過ぎから、オミクロン株の変異株や感染力の増加などの要因により、感染が急拡大しておりました新型コロナウイルスですが、ようやく8月下旬頃から、僅かながら新規感染者数は減少に転じてきております。3年ぶりに夏休みやお盆期間中に、コロナ禍での

移動制限のない夏が終わりを迎えつつあります。今後も感染拡大には注意しつつ、ウィズコロナを実践しながら、社会経済活動とのバランスが重要になって参ります。

国においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更についても、検討されているところであります。これからは、基本的かつ効果的な感染対策の徹底や、有効なワクチンの接種機会を増やししながら、現状の把握と、感染状況に合った対応や支援を組み合わせ、社会経済活動が継続できる環境を整えていくステージに移行すべきだと考えております。

こうした中、本市では 8 月 20 日に 3 年ぶりとなります「いなしき夏まつり花火大会」を開催いたしました。有料観覧席を減らすなど、感染防止対策を講じた上で開催したことにより、市内外の多くの方に、安心して安全に楽しんでいただくことができ、多くの方々から喜びの声をいただくことができました。花火大会とともに夏が終わりを告げ、これから、本格的な秋がやってきて、本市のイベントシーズンが到来いたします。スポーツフェスティバルや文化祭、そのほか様々なイベントに先立ちまして、記者の皆様には、既にご案内しています「二所ノ関部屋 応援企画」を予定しているところです。

9 月 18 日からは、市歴史民俗資料館において、二所ノ関部屋 特別展示会の開催がスタートし、10 月 2 日には、この企画のメインイベントとしまして「二所ノ関親方と中村親方によるトークショー」と、「第 72 代横綱である稀勢の里関、現在の二所ノ関親方の手形モニュメントの除幕式」が行われる予定となっております。稲敷市出身で、江戸時代の横綱であった稲妻雷五郎との縁が結んだこのイベントでは、稲敷市の魅力を伝える大きな PR のチャンスでもあります。

ほかにも、プロゴルファーの稲見萌寧選手や、今回快挙を成し遂げた馬場咲希選手など、本市とこのような方々との縁が広がっていくことは、大変喜ばしいことであり、本市の知名度向上や、活性化にもつながるものと大いに期待をしているところであります。

さて、昨日 9 月 1 日は「防災の日」でしたが、これからいよいよ本格的な台風シーズンを迎えることとなります。8 月 13 日 17 時半頃に静岡県伊豆半島に上陸し、東北地方や新潟県などを襲った台風 8 号は、各地で記録的な豪雨が続き、河川の氾濫、住宅の浸水、土砂崩れ、橋の崩落、農作物へのダメージなど、各地において広範囲に大きな被害をもたらしたことは、記憶に新しいところでございます。

本市でも、3 年前の令和元年には台風 15 号・19 号の通過により、大きな被害が発生しましたが、それ以降、幸いにも本市では、大規模な災害等は発生しておりませんが、引き続き、油断することなく、年々大規模化・激甚化していく自然災害に対しまして、最大限の警戒を怠らず、十分な備えや対策を継続して、市民の皆様の命と財産を守っていかなければならないと考えております。

さて本日は、6 日開会予定であります、令和 4 年第 3 回定例会の提出議案等につきまして、ご説明をさせていただきます。このあと、議案等の概要につきまして、行政経営部長よりご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■質疑応答

【令和 4 年第 3 回市議会定例会について】

Q: 報告第 7 号、健全化判断比率の報告について、将来負担比率「なし」はどういった経緯か？

A: 将来負担比率がマイナスのため、「なし」になっている。

Q: 議案第 63 号、選挙運動の公費負担に関する条例の改正について、経費の限度額は何円に引き上げるのか？

A: この議案は単価を変更するもの。公職選挙法施行令の改正に伴う条例改正。具体的には、選

挙運動用自動車の 1 日当たり金額 15,800 円を 16,100 円に、燃料代が 7,560 円から 7,700 円に、ビラについては 1 枚当たり 7 円 51 銭が 7 円 73 銭に引き上げる。

Q: 選挙運動の公費負担に関する条例の改正は、市議会選挙・市長選挙共通か？全国一律のものか？

A:市議会選挙、市長選挙で共通。法令に基づくので今後各自治体で改正されると思う。

Q: 議案 64 号の育児休業に関する条例改正について、回数制限はどう緩和されるのか？

A これまで原則 1 回だったが、原則 2 回になる。

Q: 議案第 65 号について、他自治体のコンビニ交付手数料はいくらなのか？

A: 全国の自治体で差があり、200 円～450 円。稲敷市は今回 200 円から、コンビニ交付機の最低価格である 10 円に値下げする。

Q: コンビニ交付手数料の減額が、期間限定の理由は？

A: 予算の限界のため。手数料の減額により、市の負担が約 216 万円発生する。予算の目途がつけば令和 5 年度も継続したいと考えている。

Q: 手数料の減額は、新型コロナ対策が狙いか？

A: 新型コロナ対策として、窓口への来場者を減らしたい意図もあるが、一番はマイナンバーカードの取得メリットをアピールするため。コンビニ交付は朝 6 時 30 分～夜 23 時まで利用できる。市民サービスの向上にもつながると考えている。

Q: コンビニ交付の利用者でコンビニが混雑することはないか？

A: コンビニは店舗も多く、利用時間も幅広いので、市役所より混雑しないと考えている。

【原油高騰・物価高騰対応事業について】

Q: 農業用肥料価格高騰緊急対策事業の申請受付はいつからか？

A: 要綱の制定日を 10 月 1 日、申請の受付は 11 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日を予定している。

Q: 市内の農業者(事業対象者)は、どのくらいいるのか？

A: 2020 年の農林業センサスで農家の数は 1858 戸。現時点で約 1900 戸の農家を想定。ただし、実際に耕作し肥料を購入して、申請する方は 1500 戸程度を想定している。

Q: 今回の物価高騰対応事業は短期的な事業だが、今後長期的な支援事業の予定はあるか？

A: 市内事業者から、長期化するコロナ禍に加えて、燃料、原料の高騰で事業の継続が厳しいとの

声が多数上がっている。その声に応えるために今回は緊急に事業を実施した。物価高騰もまだまだ先が見えない状況なので、今後も時期や状況に応じて適切な施策を講じていきたい。

Q:市独自の物価高騰対応事業は、総額 5 億円くらいだが、財源は？

A:財源は昨年度繰越金。令和 3 年度の決算で、実質収支は例年より増えた。5 億円の支出は財政に全く影響がないわけではないが、大きな影響はない。

【二所ノ関部屋応援企画について】

Q:稲妻雷五郎は阿波崎出身とのことだが、生家等、何か由来のものは存在するか？

A:生家は残っていないが、生誕の地に石碑があり。末裔の方が阿波崎に在住。直系の親族の方は市外にいと聞いている。

Q:二所ノ関部屋トークショーは、何名の応募があったのか？

A:約 800 通の応募があり、1 通で 2 名応募できるので 1600 名程度。